

洞窟の壁に彫刻

手宮の古代文字と全く同一

河野博士ら、余市で発見

本道考古学研究所の二つの方キと云われる小樽市河野の岩彫刻と同系統の古代彫刻が、余市郡余市町ノムンスで発見された。河野博士らによるこの発見は、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。河野博士らは、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。河野博士らは、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。

この洞窟は、奥平郡の奥平町にあり、奥平町長河野博士らによる発見である。河野博士らは、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。河野博士らは、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。

河野博士らは、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。河野博士らは、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。河野博士らは、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。

決裂

三時頃、十九日は講演第一稿
場所を午前九時一由緒、資料
相模内河野町を午後二時一
同四時の三時開スト

や年代についての考証も科学的に究明が可能とされ、現在洞窟内から発見されている土器、骨器や鹿、キツネの彫刻などの遺物によって推測する時代は、少なくとも奈良朝以前(約千三百年前)のものといわれる。

この彫刻は、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。河野博士らは、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。河野博士らは、先づ、古史研究の分野に重要な進歩を齎した。



三角関係の殺

眼造願の
白骨死体
有力な容